

第32回全日本小学生女子ソフトボール大会要項

- | | | |
|----|--------|--|
| 1 | 主 催 | 公益財団法人 日本ソフトボール協会 |
| 2 | 後 援 | 北海道、公益財団法人 北海道体育協会、倶知安町、倶知安町教育委員会、倶知安町体育協会
北海道新聞社倶知安支局 |
| 3 | 主 管 | 北海道ソフトボール協会、後志ソフトボール協会、倶知安ソフトボール協会 |
| 4 | 協 賛 | 名鉄観光サービス株式会社、倶知安商工会議所、一般社団法人 倶知安観光協会、倶知安建設業協会
株式会社 第一会館グループ、株式会社 ビクトリア観光 |
| 5 | 会 期 | 平成30年7月28日(土)～31日(火)(予備日:8月1日(水)) |
| 6 | 会 場 | 北海道倶知安町営ソフトボール球場(きたろくグラウンド) |
| 7 | 参加チーム数 | 都道府県代表 47チーム 開催地推薦 1チーム |
| 8 | 参加資格 | (イ)平成30年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して
加盟登録した小学生女子チームに限る。
(ロ)所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。 |
| 9 | 出場資格 | (イ)本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(ロ)選手の編成は、最終予選終了時までに公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(ハ)チームの編成は、次の通りとする。
引率責任者1名、監督1名、コーチ2名、スアラー1名、選手25名以内。
ただし、監督、コーチ、スアラーが選手を兼ねる場合は選手登録をしなければならない。
※スアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※監督・コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
①公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ、②公認ソフトボール指導員・上級指導員
③公認準指導員 |
| 10 | 申込み方法 | 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け
6月15日(金)までに到着するよう、参加料を添えて書留にて下記宛に申し込むこと。

(1)〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
※日本協会へは参加申込書のコピーのみ送付。原本は(2)の送付先に送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は所属支部協会に所属支部協会が保存する
登録名簿(B表)と参加申込書の照合確認を受け、登録名簿(B表)の写しも同封し送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は指導者資格登録証のコピーなど資格保有を証する書類
のコピーを添付すること。

(2)〒044-0003 北海道虻田郡倶知安町北3条東5丁目2-41
後志ソフトボール協会 事務局 山岡 利博方
TEL(FAX兼用) 0136-22-4659 携帯 090-8630-3879
※大会参加申込書、大会プログラム掲載用参加申込書 各原本1通
※集合写真 1枚(カラー写真で裏面にチーム名を記載すること。Eメール等での画像データ提出も可。)
(参加料、調査書は(2)宛送付すること) |
| 11 | 参加料 | 1チーム 30,000円 |
| 12 | 競技規則 | 2018年度オフィシャルソフトボールルールによる。 |
| 13 | 試合球 | 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製2号球(内外ゴム)とし、主催者が準備する。 |
| 14 | 試合方法 | トーナメント方式による。
1回戦～準決勝戦は90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次イニングよりタイブレーカーにより試合を続行する。但し、タイブレーカーは2イニングまでとし、タイブレーカーで2イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。得点差コールドゲームは採用しない。
決勝戦は時間制限を設けず、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。
サスペンデッドゲームを採用する。 |

- 15 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する。
(3) 3位チームに、表彰状、3位メダルを授与する。
(4) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする。
- 16 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 17 組合せ抽選 試合の組合せは、6月30日(土)午前11時より倶知安総合体育館において、主管者立会いのもと公開代理抽選によって決定する。
- 18 監督会議 7月27日(金)午後1時より倶知安町ホテル第一会館において開催する。
- 19 審判・記録会議 7月27日(金)午後2時より倶知安町ホテル第一会館において開催する。
(住所:〒044-0033 倶知安町南3条西2丁目 TEL 0136-22-1158)
- 20 開会式 7月27日(金)午後3時30分より倶知安町総合体育館において開催する。
(住所:〒044-0033 倶知安町南3条西4丁目 TEL 0136-22-2288)
- 21 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行なうと共に、公益財団法人日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円)の範囲内で補償を行なう。
参加者は全員健康保険証を持参すること。
- 22 その他 (1) 出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合は引率責任者)によって引率され監督(引率責任者)は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 開会式は監督、コーチ、プレイヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは原則として棄権とみなす。
(3) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
①棄権チームに対する処置:当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
②棄権チームの所属する支部に対する処置:次年度の同大会の出場資格の喪失
※組合せ抽選終了後の出場辞退(チームの変更も含む)も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
尚、事故等による理由により棄権する場合は、上記規定は適用しない。又、この決定については、日ソ協派遣理事及び大会競技委員長で行なう。
(4) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
(5) 宿泊・弁当・レンタカーについては、別紙要項によるものとする。
(6) 宿泊の斡旋を要しないチームも宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
(7) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
(8) 本大会の試合の一部を動画配信することもありますので予めご了承下さい。
(9) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
(10) 大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。
(11) 大会プログラムは各チームに3部配布するが、購入希望チームについては1部1,000円で販売するので、別紙申込み書により申し込むこと。

【本大会の問い合わせ先】

〒044-0003 北海道虻田郡倶知安町北3条東5丁目2-41
後志ソフトボール協会 事務局 山岡 利博方
TEL(FAX兼用) 0136-22-4659 携帯 090-8630-3879
E-mail: ty4659@cream.plala.or.jp

※参加申込書等様式ファイルが必要な場合は、上記Eメールで請求するか北海道ソフトボール協会ホームページからもダウンロード可。